



於保

山本

# ありが隊新聞



## 於保樹の活動報告

### 謝罪

まず初めに、11月のありがたい新聞にて、「森林組合に仕事を頼んであるがなかなか手をつけてもらえない」と、森林組合を悪く捉えられる表現について、本意をお伝えさせていただきます。

森林組合は、森林経営計画にて5年単位で天龍村の山々の施業計画をたてて作業を進めています。また、前々から補助金申請や山主と連携を取りながら作業計画を進めたりと多くの事務手続きをしていると聞いています。森林組合は大きな組織であり、天龍村を含む広大な山々を手入れしています。ただ、林業という大きな流れの中で、金銭面や効率的な面も配慮しながら作業を進めていく上で、頼まれていた全山の山々に手を回すことは厳しい話であると伝えていたつもりでした。私は、森林組合を悪く捉えるつもりはありませんが、誤解を招く表現をしてしまい申し訳ございませんでした。

### つぶやき

2月21日に行われた林業座談会については、3月のありがたい新聞にて情報共有していきます。既に「21日参加します」「次の機会に参加したいです」とのありがたいお言葉をいただきました。また、「家の裏庭の株立ちしている木を切ってほしい」「竹林が迫ってきているので綺麗にしてほしい」との要望もありました。嬉しいお話です。

## 林業

2月～3月は針葉樹の現場を集中的に進めていきます。まだ現場には沢山の木が残っていますが、少しずつでも搬出が進んでいる実感があると気持ち良いものです。

作業を進めていく上で、鳶の使い方の難しさや、造材の仕方や順序を考えることは難しいなとひしひしと感じます。

鳶で丸太を微調整して積んでいるのですが、全く思うように動いてくれません。当たり前ですが、丸太を人力で動かすことはできません。ただ、クレーンで吊る位置を変えたり、転がすように動かしたりすると人力でも丸太を動かすことができるのは非常に面白いです。昔は、鳶を器用に使い丸太を動かすことを聞いて、一度鳶使いを習いたいですね。

造材の仕方や準備については、ラジキャリ操縦者の方が暇をもてあますことがないよう上から無理なく危なくならないよう、順序良く造材していく必要があります。造材する際にも足場を良くするためにチェーンソーで枝を細切れにしています。また、丸太は地面や丸太に接していたり橋渡し状態になっていたり様々な状況にあります。丸太を割らないよう丁寧に造材していく術を学んでいきたいです。



山沢の様子  
まだ残っています！  
まだ張り



### 竹林整備

竹林整備をそろそろ再開していかねばいけません。時間も都合よく取ることができないので破砕機にかけて綺麗にしていこうかなと思います。ただ竹チップをどうしていこうか迷いどころですね。なにか使い道をご存じの方がいれば教えてくださいたいです。よろしくお願い致します。

## 【農林業公社にて】

1月も稼働初日からネギを切っておりまして。大河内のネギはほっそりしたものが多かったのですが、平岡のネギたちはある程度ずっしりと太く育ってくれたため、立派なネギを出荷することができました。

ハウスの中で切ったり詰めたり作業をするのですが、ハウス内は意外と埃っぽく作業中はマスクが欠かせません。作業が終わるころには顔もマスクも黒くなっています。畑でネギを掘っている時より汚れているかも。



収穫・乾燥後のネギ  
ここから葉と根を  
切って整えます

ハウスに植えられたサニレタスは思ったよりも成長が遅く、なかなか大きくなってくれません。土がだいぶ乾いてしまっていて、水をはじいてしまいます。どうしたものか。恵方巻用に出荷する目的だったのでですがどう考えても間に合わず。お彼岸の頃に収穫できたらいいかも、に変わりました。

でも昼間のハウスの中は暖かくてとても心地がいい！朝が寒すぎるだけに（毎朝氷点下という気温にまだ慣れていない）、水やりにしろ、ネギの出荷準備にしろ、長くここにいたいと思っています。

また、12月初旬に収穫した南天の剪定をしました。人生初剪定。必要な枝だけを残す、というのが剪定のイメージでしたが、南天に関しては全部取るとのこと。最初のうちは本当にこれでいいのか不安で恐る恐る進めていきましたが、そんなのは最初だけ。だんだんと枝がなくなっていく様子が面白くなってきて、結構楽しんで剪定してました。綺麗になるのはとても気持ちがいい。ただ、風が強いうえに冷たいという厳しい環境下にその楽しさは勝つことができませんでした。

剪定前



剪定後  
ここまで何もなくなると気持ちいい

あけびと柚子の剪定講習が農林業公社の圃場にて行われました。南天と違い、自分の剪定のイメージと合った講習ではありましたが、情報量が多すぎてその場では整理できず、言われたことの半分も処理できていなかったと思います。

その後一度実家に戻る機会があったので、講習で学んだ基礎中の基礎だけを思い出しながら実家の柚子の木を剪定してみました。ちゃんと光が入るようになりました。私にもできるんだなあ、と自分の成長にちょっと感動。来年の楽しみがまた一つ増えました。